

小児看護学方法論 I	2年・前期	2単位	講師 宮澤由佳 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210742

1. 授業のねらい・概要

健康障害をもつ子どもと家族を含めた看護の基本となる概念と援助について学習する。また、一人ひとりの子どもの権利を擁護し、子どもに安全で安楽なケアを提供するための、根拠に基づいた看護援助について学習する。

2. 学修の到達目標

1. 子どもと家族との援助関係が理解できる。
2. 子どもの発達段階を考慮したアセスメントが理解できる。
3. 子どもの発達段階を考慮した看護技術が理解できる。
4. 検査・処置を受ける子どもと家族の援助が理解できる。
5. 健康障害を持つ子どもにとっての遊びの意味と必要性が理解できる。

3. 授業の進め方

講義・演習を行う。視聴覚教材およびグループワークを取り入れ、内容理解を深める。自己学習ができように課題を与える。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	援助関係を形成する技術	講義	予習：援助関係を形成する技術部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	宮澤由佳
2	身体のアセスメント①	講義	予習：子どもの形態的・機能的発達部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	市村路子
3	身体のアセスメント②	講義	予習：子どもの形態的・機能的発達部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	市村
4	症状を示す子どもの看護①	講義	予習：発熱・脱水・けいれん時のアセスメント部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	市村
5	症状を示す子どもの看護②	講義	予習：呼吸困難・嘔吐・下痢生命徴候が危険な状況のアセスメント部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	市村
6	小児看護技術① 食事援助、排泄援助、清潔・衣生活援助	講義	予習：食事・排泄・清潔・衣生活援助部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	宮澤
7	小児看護技術② 呼吸・循環を整える技術、与薬技術	講義	予習：呼吸・循環を整える技術、与薬技術部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	宮澤
8	小児看護技術③ 症状・生体機能の管理技術、救急救命技術	講義	予習：症状・生体機能の管理技術、救命救急技術部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	宮澤
9	小児看護技術④ 環境調整技術、安全・安楽を確保する技術	講義	予習：環境調整技術、安全・安楽を確保する技術部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を	宮澤

			振り返る。	
10	小児看護技術演習①	演習	予習：演習する技術の内容・実施方法を確認する。 復習：演習で学習した内容を振り返る。	宮澤
11	小児看護技術演習②	演習	予習：演習する技術の内容・実施方法を確認する。 復習：演習で学習した内容を振り返る。	宮澤
12	プレパレーション演習①	講義 演習	予習：健康障害を持つ子ども・家族への看護部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	宮澤
13	プレパレーション演習②	演習	予習：プレパレーションツール作成の準備をする。 復習：演習内容を振り返る。	宮澤
14	プレパレーション演習③	演習	予習：プレパレーション発表準備をする。 復習：発表内容を振り返る。	宮澤
15	プレパレーション演習④	演習	予習：プレパレーション発表準備をする。 復習：発表内容を振り返る。	宮澤

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は2/3以上出席した者）80%，レポート課題等20%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 メディカ出版

ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 メディカ出版

参考文献：ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護 メディカ出版

系統看護学講座 小児看護学1 小児看護学概論・小児臨床看護学総論 医学書院

系統看護学講座 小児看護学2 小児臨床看護各論 医学書院

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準ずる程度の具体的学習内容

次回講義内容のテキスト該当箇所の予習（30分程度）と復習（30分程度）をすること。

8. 受講上の留意事項

小児看護学概論の学習内容と関連させ主体的に参加することを期待する。小児看護学実習の先修科目である。

遠隔授業：オンデマンド型の場合は，1回分の内容を最後まで見ること。

対面授業：遅刻，欠席ならびに授業中の私語，許可のない教室の出入り，授業に関係のない言動は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員がないようを確認し，内容の不備があるものは再提出を求める。

試験実施後に解答を口頭で説明するか解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。